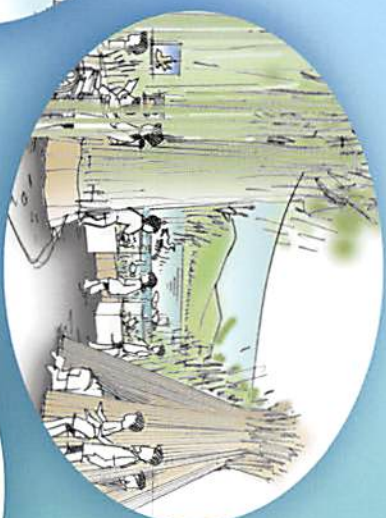
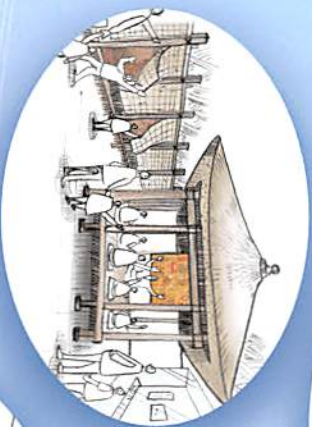


新琵琶湖博物館の創造

～滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアル～



LAKE BIWA MUSEUM

滋賀県立
琵琶湖博物館

新琵琶湖博物館の創造

～滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアル～

目次

- 1 滋賀県立琵琶湖博物館について … 2
- 2-1 社会の一步先を行く琵琶湖博物館 … 3
- 2-2 社会の一步先を行く琵琶湖博物館 … 4
- 3 リニューアルの方向性と新琵琶湖博物館の役割 … 5
- 4 リニューアルで生まれ変わる琵琶湖博物館 … 6
- 5 リニューアルスケジュール … 7
- 6 期待されるリニューアル効果 … 8
- 7-1 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介 … 9
- 7-2 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介 … 10
- 7-3 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介 … 11
- 8 移動博物館 … 12

1 滋賀県立琵琶湖博物館について

●琵琶湖博物館の使命

■滋賀県立琵琶湖博物館は、琵琶湖とその集水域および淀川流域の自然、歴史、暮らしについての理解を深め、地域の人々とともに「湖と人間」の新しい共存関係を築いていくことを使命として、平成8年に開館されました。



●琵琶湖と環境のすべてがわかる多彩な展示

■自然科学、歴史、文化の展示をはじめ、水族展示（水族館）もあわせ持つ全国的にもめずらしい総合博物館です。



A展示室：琵琶湖のおいたち



B展示室：人と琵琶湖の歴史



C展示室：琵琶湖の環境と人びとの暮らし



水族展示：淡水の生き物たち

2.1 社会の一步先を行く琵琶湖博物館

● テーマを持った博物館

■ 琵琶湖博物館はこれまでの博物館像にとらわれず、総合博物館でありながら「湖と人間」というテーマを持ったオリジナルな展示を行う博物館です。



企画展示



ギャラリー展示

● 交流の場としての博物館

■ 全国の博物館に先駆け、交流事業を博物館活動と位置づけ、観察会・体験教室・講座などを年間 200 回以上開催し、環境学習・生涯学習の場として、小中学生をはじめ県内外の多くの人々にご利用いただいています。



観察会



夏休み自由研究講座

● 企業の皆さんとともに築く「湖と人間」の未来

■ 近年、交流事業はさらに広がり、博物館資源を生かした企業の社員研修やCSR活動、地域交流活動への協力・貢献を通じて、企業の皆さまとともに「湖と人間」の共存関係を築く新たな活動に取り組んでいます。



企業の生態系保全活動に協力



博物館学芸員による社員研修

2-2 社会の一步先を行く琵琶湖博物館

●琵琶湖・環境の象徴施設

■琵琶湖博物館は年間約37万人と県立の博物館としては全国トップクラスの来館者数があります。また、県内観光入込客数が22位、文化施設としては県内トップであり、県外からも多くの方に利用されている琵琶湖・環境の象徴施設です。平成27年3月には来館者数が900万人に達しました。



あさ、ひる、ばん博物館を楽しもう! (館内でのコンサート)



アトリウムでのフロアアートワーク

●全国・世界に向けた発信

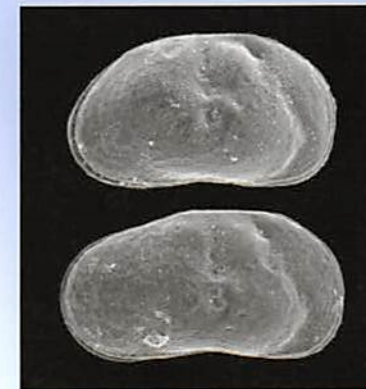
■琵琶湖博物館は開館以来、環境、生き物、人間活動のかかわりについて調査・研究し、展示や交流活動を通じて、自然と人間の新しい共存のあり方について広く発信してきました。こうした取り組みは、国内をはじめ国外からも高く評価されています。



日仏共同企画「フェアブルに学ぶ」展



世界最長の展示に成功したマミズクラゲ



数多くの新種を発見：カイミジンコの新種

3 リニューアルの方向性と新琵琶湖博物館の役割

● リニューアルの方向性

1 常設展示の再構築

体験的な展示を多く取り入れ、琵琶湖の魅力の発信力を強化

- ・ 発信力の高い展示
- ・ 最新課題に対応した展示
- ・ 参加型、体験型の展示
- ・ 地域の人びとと創る展示

2 交流空間・交流機能の再構築

参加と発見、対話と交流を促し、次代を担う人が育つ交流の拠点

- ・ 学びと発見の体験交流
- ・ 実践へとつなぐ環境学習
- ・ 博物館と地域をつなぐ交流
- ・ 琵琶湖へ誘う屋外交流空間



● 新琵琶湖博物館の役割

1 「湖と人間」のあり方を県民とともに考え、ともに行動する博物館

マザーレイク21計画第2期の実現に向けて、琵琶湖の大切さに気づき、主体的な行動を起こす人びとを応援します。

2 次代を担う人が育つ拠点となる博物館

湖と人間が共存する持続可能な社会の実現に向けた次代を担う人が育つ場となります。

3 地域活性化の核となる博物館

観光施設、文化施設でもあるという多面性を生かし、琵琶湖・滋賀を県内外に発信し、地域活性化の核となる施設をめざします。

4 リニューアルで生まれ変わる琵琶湖博物館

● 学びと発見! 感動の新展示

■新しい琵琶湖博物館は、来るたびに新たな発見があり、学びと楽しみの機会に満ちた場となるよう参加型・体験型の展示を取り入れ、発信力を強化します。



氷期の森体感コーナー



中世のお堂で絵解き体験



ヨシ原を歩いてみると

● 琵琶湖へ誘う 屋外交流空間

■琵琶湖岸にあるという立地条件や屋外展示の森などを活用し、自然に近づき琵琶湖を感じる交流空間の整備を行います。



屋外交流空間を活用した環境学習



琵琶湖の漁業体験



● 多様な主体と連携した 「人育て・人育ち」

■次代を担う人が育つ交流の拠点として、県民、NPO、企業など多くの皆さんと連携して、交流活動の強化に努めます。



地域学習プログラム



ライブ@琵琶湖博物館

5 リニューアルスケジュール

平成24年 新琵琶湖博物館創造ビジョン
平成25年 新琵琶湖博物館創造基本計画

第1期



C展示室：田んぼをのぞいてみると

平成26年 第1期リニューアル実施設計
(C展示室、水族展示)
平成27年 第1期リニューアル工事
平成28年 第1期リニューアル完成
(開館20周年)



水族展示：古代湖の世界

第2期



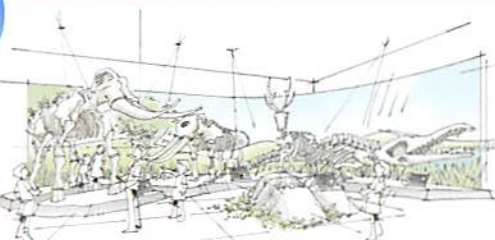
樹冠トレイル

平成30年 第2期リニューアル(交流空間)完成
(大人のディスカバリー、
樹冠トレイル、
レストラン/ ショップ他)



大人のディスカバリー

第3期



A展示室：変わる生き物

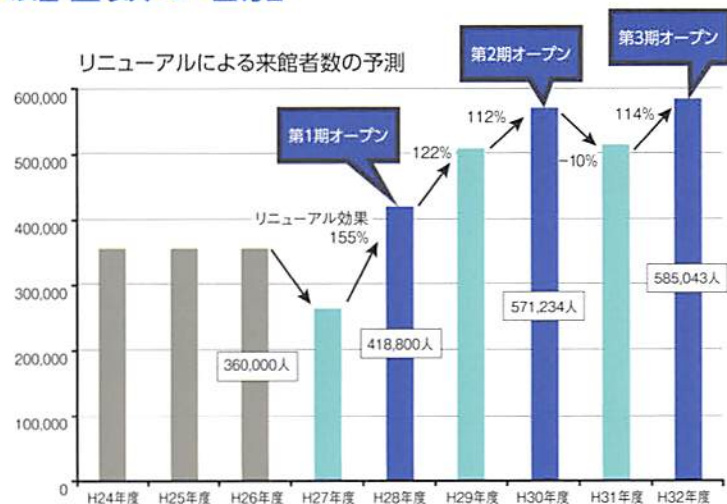
平成32年 第3期リニューアル完成
(A展示室、B展示室)



B展示室：船とともにある暮らし

6 期待されるリニューアル効果

● 来館者数の増加



● 経済波及効果

総合効果は56.99億円 (波及効果倍率2.28倍)
就業誘発効果は508人

● 地域活性化の核となり、琵琶湖・滋賀を発信する拠点へ!



< 学びと発見、驚きと感動の新展示 / 琵琶湖岸屈指の観光スポット >

● 社会・文化的効果

～博物館の「木」から地域の「森」へ～



- 心に「種」を 琵琶湖の大切さに気づき、誇りに思う人びとが増加
- 「苗」を育てる 暮らしに博物館が定着し、新たな活動の広がり
- 発展し続ける「森」へ 琵琶湖博物館を拠点としたネットワークが形成され、「湖と人間」の新たな共存関係が構築

● 地域のオリジナルな魅力を発信



地産地消のこだわりのレストラン



オリジナル商品を提供するショップ

7-1 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介

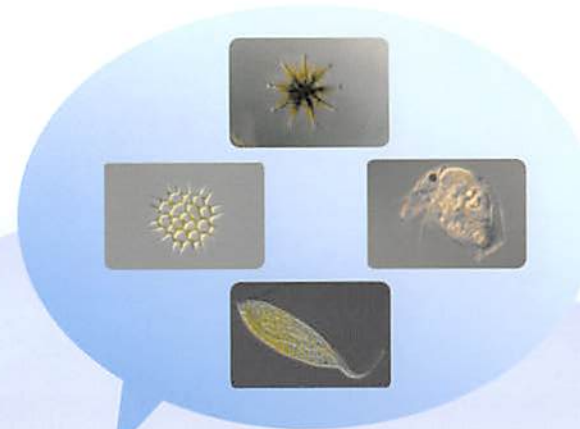
● マイクロアクアリウム

～琵琶湖の生態系を支える小さな生き物たち～



肉眼では見えないプランクトンなどの微小な生き物を拡大して紹介する世界初となるシアター。プランクトンの生き生きとした姿を迫力ある映像で紹介します。

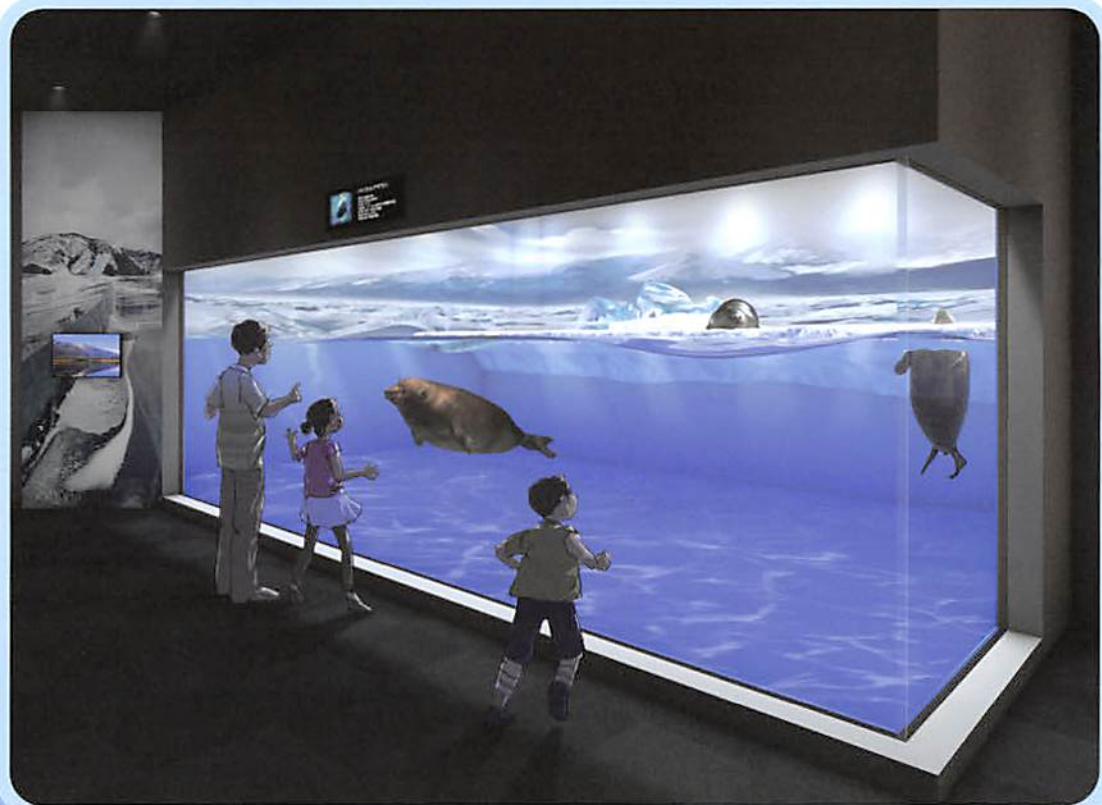
マイクロアクアリウムの
イメージ図



生きたプランクトンが
見られるプランクトンバー。

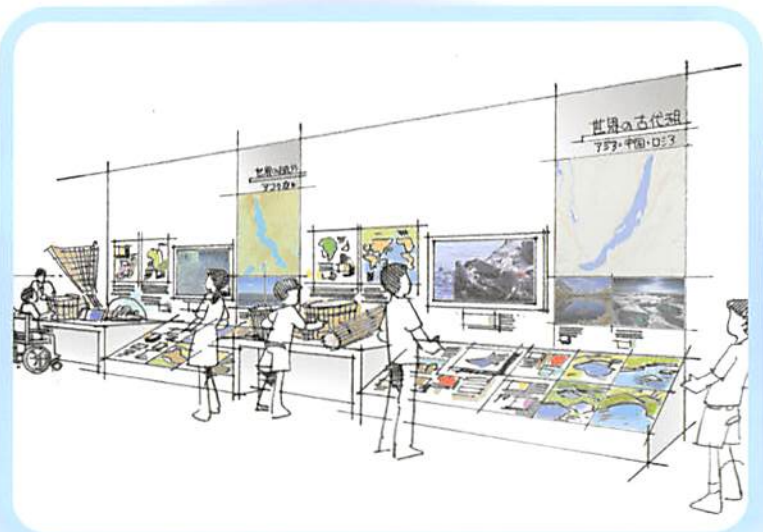
7-2 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介

● 古代湖の世界 ～世界の古代湖を紹介し、古代湖としての琵琶湖の価値を発信～



バイカル湖の固有種「バイカルアザラシ」～世界で唯一の淡水アザラシ

日本唯一の古代湖としての琵琶湖の価値を発信するため、世界最古の湖であるバイカル湖やアフリカ地溝帯の湖など、古代湖の生き物、特に固有種(バイカルアザラシなど)を中心に比較紹介します。

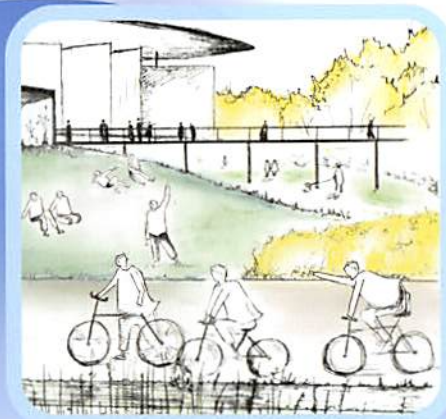


7-3 学びと発見、驚きと感動の新コーナーの紹介

● 樹冠トレイル ～自然に近づき、琵琶湖を感じる～



樹冠トレイルのイメージ図



琵琶湖畔にある立地条件を生かし、琵琶湖を渡る風を感じながら屋外展示の森を上から観察できる空中遊歩道を整備します。

来館者が琵琶湖や野外空間の自然をたっぷり体感し、心に残していくことができる琵琶湖岸屈指の観光スポットとなります。



8 移動博物館



「地域発見！参加型移動博物館」は、琵琶湖やその集水域の自然や歴史、人々の暮らしや文化などに関する移動型の展示キットからなります。移動博物館は、滋賀県や琵琶湖への興味・関心を高め、琵琶湖や琵琶湖博物館へ来訪してもらうことを目指しています。そのため、琵琶湖・淀川流域をはじめ各地のイベント会場、ショッピングモールなど多くの人が集まる場所で開催しています。

移動博物館は、平成23年に滋賀県立琵琶湖博物館がふるさと納税の「マザーレイク滋賀応援基金」を活用して制作しました。



アクセス



■電車・バス

JR琵琶湖線「草津」駅下車、からすま半島行きバス25分

■自家用車

名神高速道路 瀬田西ICから約40分

栗東ICから約30分

新名神高速道路 草津田上ICから約40分



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091
TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850
<http://www.lbm.go.jp>



印刷インキは環境にやさしい
植物油インキを使用しています